

自民党

日本のために
船橋のために。



衆議院議員 自由民主党
千葉県第4選挙区支部長

木村てつや

Information

お知らせ

ミニ集会(出張国政報告会) の開催をお願いします。

職場やサークル、お友達とお集まりの際など、是非企画してお呼びかけください。
木村てつやがお伺いして、出張国政報告会をさせて頂きます。また、子育て、福祉など、暮らしに関わる様々なご意見を直接みなさまよりお聞かせください。

献金のお願い

木村てつやの政治理念にご賛同いただき、活動を是非ともお支えください。皆様からいただいた貴重な献金は、木村てつやの政治活動に大切に活用し、政治資金規正法に基づきご報告させていただきます。
献金をご協力していただける方は、木村てつや事務所までご連絡ください。

自民党 党員募集

木村てつやが支部長を務める自由民主党千葉県第四支部では、自民党員を募集しています！入党に関するご質問・お手続きに関するお問い合わせは、047-433-3088 までご連絡ください。



Office

自民党千葉県
第四選挙区支部
国会事務所

E-mail:info@tetsuya-kimura.com
ホームページ:<http://www.tetsuya-kimura.com>

木村てつや事務所
[facebook>>>>>](#)

facebookもチェック
最新の活動は[こちらから](#)



Profile プロフィール

衆議院議員
自由民主党
千葉県第4選挙区支部長



木村てつや

昭和44年 船橋市行田町生まれ
平成29年 第48回衆議院議員選挙にて
比例関東ブロック初当選 現在 衆議院議員1期

田村元元衆議院議長秘書を経て、
平成11年～22年 船橋市議会議員3期
平成23年～26年 千葉県議会議員1期

西船幼稚園、塚田小学校、千葉日本大学第一中学校、
千葉敬愛高校、千葉工業大学工業経営学科卒、
中央工学校建築設計科卒、
法政大学大学院政策科学研究所修士課程修了

〈所属 役職〉

国 厚生労働委員会 委員
決算行政監視委員会 委員
北朝鮮による拉致問題等に関する委員会 委員

自民党 千葉県第4選挙区支部 支部長
厚生関係団体委員会 副委員長
国会対策委員会 委員

理事・顧問など 船橋憲法改正推進市民の会 共同代表
法政大学大学院政策科学研究所特任研究員
日本地方政治学会理事
日本政治法律学会理事
船橋市テニス協会会長
船橋市グラウンドゴルフ協会会長
船橋市バドミントン協会会長
IBA 少年野球国際交流協会船橋支部会長
空手道顧問 相談役
船橋市柔道連盟顧問 など

座右の銘：「志あれば意これなる」

趣味：富士登山、読書、
自転車、旅行、
そば屋巡り、
スキー



⟨⟨ 討議資料 ⟩⟩



2019年3月 活動報告編

第198回国会(常会)は、平成31年1月28日に召集されました。会期は6月26日までの150日間の予定です。

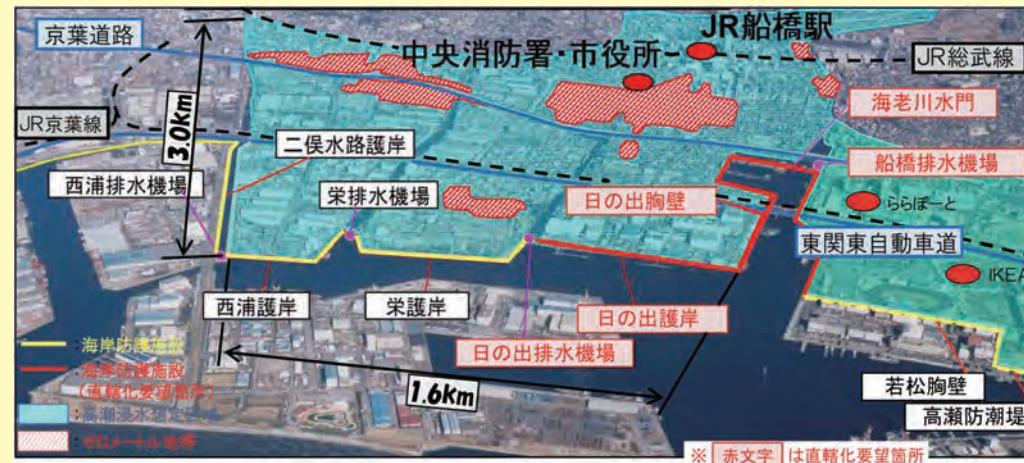
平成最後の国会が開幕しました。

第198回通常国会が1月28日、召集されました。初日は衆参両院の本会議で安倍晋三総理の施政方針演説など政府4演説が行われ、安倍総理は全世代型社会保障への転換に本腰を入れて取り組むと力強く決意表明、また今年10月から3歳から5歳までの幼児教育を無償化することや、来年4月から公立高校も実質無償化となるなどの方針を打ち出す一方、その財源となる消費税率の引き上げについて国民の理解と協力を求めました。

平成30年度 第2次補正予算が成立

追加歳出が3兆351億円となる平成30年度第2次補正予算は、2月7日の参院本会議で可決、成立しました。平成30年7月豪雨や北海道胆振東部地震などを踏まえ、河川や砂防、道路などの防災・減災対策、学校施設の耐震化を中心に1兆723億円を計上したほか、日本を含む11カ国による環太平洋経済連携協定(TPP11)の発効に対応するための農林水産業の強化策として3256億円を充てました。中小企業・小規模事業者に対する支援には2068億円を確保し、消費税の軽減税率に対応するレジの導入支援などを行います。採決に先立って賛成討論を行ったわが党の高橋克法参院議員は「いずれも緊急性が高い」と訴えました。

護岸や水門、排水機場などの海岸保全施設が 船橋市の重要な都市機能を高潮・津波から防護!



海岸堤防などの防護施設は、昭和40年代に整備されて以降、これまでに台風などによる高潮からの浸水被害防止に貢献してきました。船橋地区の海岸防護施設は、ゼロメートル地帯を抱える船橋中心市街地の人口約4.4万人、家屋約1万棟など地域の生命財産を守る重要な社会インフラとなっております。東北地方太平洋沖地震の津波からも市街地を防護。

千葉港海岸船橋地区の高潮浸水想定区域内には駅・市役所・消防署・電力会社・NTT・緊急輸送道路などの重要な施設が密集しています。一方で、施設の老朽化が大きな課題。首都直下地震などで施設が損傷した場合には、大規模な被害が想定されます。こうならないようには護岸の耐震補強、液状化対策を実施し、老朽化した水門・排水機場の大規模な更新を早期事業化することが重要です。

栄水門・栄排水機場の緊急対策が決定しました!

国土交通省関係第2次補正予算の一部は、重要な背後地を抱える海岸などに関する緊急対策費として、船橋市の栄水門・栄排水機場の改良工事に当てられることになりました。

千葉県には7千2百万円の分配額が交付され、「千葉県における安全・安心・賑わいのある港湾・海岸の整備(防災・安全)」として、老朽化した栄水門・栄排水機場の機能確保、護岸及び胸壁の嵩上げ、施設の耐震化が進められます。これにより、高潮の浸水被害からこの地域の生命財産や社会インフラなどを守り、海岸保全施設の耐震強化を実施することで地震時の施設被害を回避し、市内の早期復旧を可能にします。この決定は、河川堤防や水門などの耐震強化は市民の生命・財産を守る上で最重要課題であると訴えてきた、木村哲也の強い要望を反映したものとなりました。今後さらに、想定される首都直下地震など切迫した状況にふさわしく、船橋排水機場、海老川水門などの整備事業を加速するよう求めて参ります。

